

# 乙女高原ファンクラブ 年次活動報告 2007 ダイジェスト版 2008.3.16.

こんな1年間でした

1. (株)田丸グリーン基金より4年連続で協力参加費をいただきました。それを活用して『乙女高原フィールドガイド マルハナバチ・ウォッチング』を作成しました。
2. 1年間で36名の入会者があり、現在、会員は552名です。
3. 年間計画に沿って、18全ての活動を実施することができました。活動への参加者数はのべ1344人でした(2004年度:811人,2005年度:1200人,2006年:1378人)。
4. 今年で8回目となるボランティアによる遊歩道作りには今まで最高の87名が参加してくださいました。田丸グリーン基金や国府灘子の皆さんは常連さんです。
5. 年3回のマルハナバチ調べ隊を行うのは5年目です。3回全てが実施できました。
6. 今年で4回目となるイタドリ刈りを今年も実施。32名が参加。イタドリ刈りの効果が見られたので、来年度は実施しないことになりました。
7. 案内人の会主催で、5月、6月、7月、10月と4回の勉強会が行われました。
8. 10月の勉強会では長野県の霧ヶ峰に出かけ、霧ヶ峰基金と県立霧ヶ峰自然保護センターのインタープリテーションを体験しました。
9. 牧丘第一小、第二小、塩山高校、山梨市福祉協議会、東山梨教育協議会等、団体から案内等を頼まれることが多くなりました。
10. 今年も夏の土日を中心に乙女高原案内人の皆さんが交代で乙女高原の案内をしました。のべ16日間に、のべ101人の案内人が、457人もの方々を案内しました。
11. 第8回乙女高原の草原を守る!草刈りボランティアを実施。今まで最高の267名が参加。ブルーシートに刈った草を載せて運ぶのがとても効果的でした。
12. 第7回乙女高原フォーラムには89名の参加者があり、「乙女高原にも来るよ、海を渡るちょうアサギマダラ」をテーマに、名古屋でアサギマダラ調査に取り組む近藤記巳子さんのお話をお聞きしました。
13. フォーラムに関連して市民会館ロビーで『ようこそ乙女高原へ』展 を行いました。近藤さんからお借りしたアサギマダラ調査のパネルを展示。ファンクラブの活動もパネルにしておけば、どこでも即展示可能になるなと思いました。
14. 計10回の世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を行ったりしました。そのうち何回かは共催事業の実行委員会を兼ねて行い、山梨県・山梨市の担当者も交え、企画を練ったり、実施後の反省を共有したりしました。
15. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行しました。
16. インターネットを使っての情報交換・情報発信を積極的に行いました。サイトに草花や樹木の花暦のページ、企業の社会貢献のページ等を新たに掲載しました。
17. 遊歩道づくり、イタドリ刈り、草刈り、フォーラムは県・市との共催事業でした。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思えます。
18. 中型ほ乳類(テン)の糞サンプリング調査を継続しました(2年目)。

# 1年間の活動の足跡

3/11 2006年度定期総会



町総合会館を会場に行われました。出席23名。委任状80名。普通会員は187名なので過半数となり、総会は成立。第4期世話人への立候補者13人すべてが承認された。

3/11 第5回座談会



総会後に行われた。今回は山梨市の「出前講座」事業を活用し、市観光課職員から山梨市の観光ビジョンについてお話を聞いた。参加者27名。

5/13 第8回遊歩道作り



参加者87名。受付を済ませた方からロープの結び方の研修に参加していただいた。田丸、国府離子、ロータリークラブ、甲府南高校など団体参加多数。

5/13 案内人勉強会



参加者25名。遊歩道づくり終了後に行われた。たくさんのスミレの花が観察できた。アケボノスミレ、ヒゴスミレ、アカネスミレ、エイザンスミレ…。

6/16 案内人勉強会



参加者12名。なんと乙女高原案内人の「産みの親」である今井さんが奥様を連れてひょっこり参加。ギンリョウソウ、クリンソウなどの植物を観察。

6/16 第4回イタドリ刈り



参加者32名。今回は区画も設けず、計量もせずに、ひたすらイタドリを刈り取り、持ち出した。草原内のイタドリの比率は十分少なくなったと評価できる。

6/24 第4期マルハナバチ調べ隊



参加者20名。途中から雨という、あいにくの天気だったが、レンゲツツジでコマルハナバチを、アヤマでトラマルハナバチを観察。ラインセンサス10頭は今までの最低記録。

7/3 乙女高原案内人、牧丘第一小学校自然教室の支援



案内人の参加者8人。5年生32人対象。下見を何回も行い、自然観察クイズのカードを遊歩道に設置し、それを解きながら草原をハイキングするという形式で行った。事前学習会にも参加し、スライドで説明した。

7/5 乙女高原案内人、牧丘第二小学校自然教室の支援



案内人の参加者10名。4・5年生17人対象。牧丘一小と同じく問題を解きながらのハンキング。班にも3人ずつ案内人が付いた。

7/7 案内人勉強会

【No Photo】

参加者10名。案内活動が始まる直前の初夏の乙女高原を10人で楽しんだ。

7~8月 案内人自主活動



学校が夏休み中の土日を中心に案内人がボランティアで乙女高原を訪れた人を案内。計16日間にのべ101人の案内人が乙女高原を訪れた457人を案内した。

8/5 マルハナバチ調べ隊



参加者11名。参加者は少なかったが、49頭のマルハナバチをセンサス。なお、山梨市社会福祉協議会や東山梨教育協議会にマルハナバチ調査プログラムを提供した。

9/9 マルハナバチ調べ隊



参加者9名。国武さんも参加。乙女高原でクロマルハナバチを初確認!と思いきや、その後、DNA判定でコマルハナバチと確認された。

10/21 案内人勉強会  
エコツアー体験 in 霧ヶ峰



参加者18名。霧ヶ峰基金と県立霧ヶ峰自然保護センターの2ヶ所でインタープリテーションを受けた。

11/23 第8回草刈りボランティア



参加者は今まで最多の267名。ビニールシートを使って刈り取った草を持ち出す方法がとても有効だった。終了後、課外授業も行った。

12/9 案内人意見交換会

【No Photo】

参加者9名。牧丘の千里にて。今年1年の活動を振り返り、来年の活動について意見交換した。その後、おいしいランチをいただいた。

1/18~2/14 乙女高原展



今年で3回目となる、山梨市民会館ロビーをお借りした展示。近藤さんにお借りしたアサギマダラのパネルや乙女高原の草花のキルトなど盛りだくさんの展示となった。

1/27 第7回乙女高原フォーラム



山梨市民会館大ホールにて。参加者89名。テーマは「乙女高原にも来るよ、海を渡るちょうアサギマダラ」。ゲストは名古屋でアサギマダラ調査に取り組んでいる近藤記巳子さん。

## 乙女高原ファンクラブまで。乙女高原ファンクラブから。

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。
- 1999.7-8 乙女高原自然教育研究会主催の「乙女高原毎週自然観察会」開催。
- 1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。
- 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。
- 2000.3 「乙女高原の森」連絡会議主催の「乙女高原を語る」パネルディスカッション開催。
- 2000.10 「乙女高原の森」連絡会議「乙女高原の森の保全および活用に関する提言」を県に提出。
- 2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

### 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新游歩道開設。
- 2001.11 乙女高原ファンクラブ公式ホームページ公開開始。
- 2002.3 第1回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは西丸震哉さん)西丸流自然とのつきあい方
- 2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞(受賞対象は乙女高原自然講座)
- 2003.2 第2回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは今井信五さん)インタープリテーション
- 2003.4 新事業・乙女高原案内人養成講座スタート
- 2003.6 イタドリの刈り取り実験用コドラート設置
- 2003.6 新事業・マルハナバチ調べ隊スタート。
- 2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲
- 2003.10 土壌観察会(筑波大学土壌環境化学研究室と共催)
- 2003.11 第4回乙女高原の草原を守る!で、キッズボランティア開始
- 2004.1 第3回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは高橋佳孝さん)なんで草原を守るの?
- 2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞
- 2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。
- 2004.6 新事業・イタドリ刈り開始。
- 2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始
- 2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出
- 2005.1 第4回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは国武陽子さん)劇団マルハナバチ
- 2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
- 2006.1 山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催。
- 2006.1 第5回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは北垣憲仁さん)乙女百名花,リレートーク
- 2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート
- 2006.6 山梨県観光物産連盟より感謝状をいただく。
- 2006.9 コカ・コーラ環境教育財団より環境教育賞主催者賞をいただく。
- 2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。
- 2007.1 第6回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは南 正人さん)調べることで...
- 2007.3 石和サティにて「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。
- 2007.6 田丸グリーン基金を活用し,マルハナバチのパンフレットを作成。
- 2007.10 乙女高原案内人勉強会スペシャルツアーとして霧ヶ峰のインタープリテーションを体験。
- 2008.1 第7回乙女高原フォーラム開催。(ゲストは近藤記巳子さん)アサギマダラ

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp  
ウェブページ <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号)0220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ